

様式 1-3)

いわき市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

令和元年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	67	事業名	道路事業(四ツ倉駅跨線人道橋)	事業番号	F-1-14
交付団体	いわき市		事業実施主体(直接/間接)	いわき市(直接)	
総交付対象事業費	395,875(千円)		全体事業費	1,592,785(千円)	
事業概要					
<p>福島県が整備を進める復興公営住宅の建設が予定されている JR 四ツ倉駅西側と、日常生活に必要な商業施設が立ち並ぶ JR 四ツ倉駅東側は、JR 常磐線により東西に分断されており、現状において、双方を結ぶアクセス道路は既存の狭隘な歩行者専用踏切しかない状況である。</p> <p>今後、復興公営住宅の整備に伴い、双方を往来する歩行者の大幅な増加が見込まれることから、安全で利便性の高い歩行環境の整備を目的に、有事の際の避難路としての機能も有する跨線人道橋を、JR 四ツ倉駅周辺に整備すると共に、駅西側において当該跨線人道橋と接続する市道の拡幅整備や交通広場の整備を行うものである。</p> <p>【整備概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○橋梁整備 橋長 L=38m、幅員 W=3.0m ○関連道路整備 道路 L=100m、W=10.0m、交通広場 A=2,800m²(駐輪場 N=50 台含む) ○移転補償 1 式 <p>【関連する復興公営住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四倉地区 <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により、双葉郡 8 町村を中心に多くの方々が避難を余儀なくされ、本市では、平成 25 年 12 月現在、約 2 万 3 千人を受け入れており、今後、福島県は本市内に復興公営住宅 1,760 戸の建設を予定している。(うち四倉地区においては、150 戸整備予定)</p> <p>当該建設予定地となる JR 四ツ倉駅西側にはまとまった商業施設がなく、また、主要な商業施設が立ち並ぶ JR 四ツ倉駅東側へのアクセス道路は既存の狭隘な歩行者専用踏切しかないのが現状であり、今後の長期避難者の良好な生活環境の形成に支障をきたす恐れがあることから、JR 常磐線の東西を結ぶ、安全で利便性の高い歩行環境の整備が重要課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いわき市内への長期避難者数 約 23,000 人 ○市内復興公営住宅整備戸数(県事業) 1,760 戸 					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	